

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
 倉掛自治連合会 井原町倉掛
 井原市長 梶谷昌弘
 《編集》 倉掛自治連合会
 倉掛自治連合会 井原町倉掛
 倉掛自治連合会 井原町倉掛
 倉掛自治連合会 井原町倉掛



フレスタ オープン

ポニー（昨年五月閉店）の愛称で親しまれていた井原新商店街共同組合所有の商業ビルへ、七月下旬、核テナントの「フレスタ井原店」が入りオープンした。
 (株)フレスタは広島市に本社を置く食品販売会社の大手。井原店の従業員は六十名（吉儀真輝店長）で、初年度売上目標は八〇十億円程度を見込んでいる。
 以前このビルで営業していた地元業者らも再び入るなど、井原線開業を来年一月に控え、駅前大通りに活気が戻りつつある。

環境行政を視察

倉掛自治連合会長 梶谷昌弘

津山市

七月三日、井原市環境衛生協議会（谷本仲弥会長）の総会と環境行政視察研修に参加のため、津山市を訪問した。

津山市では一般家庭ゴミを排出するにあたり、市指定のゴミ袋を標準サイズ一

袋約三十円程度で購入している。つまり、住民がゴミ処理費を一部負担するシステムがとられているのだ。これは概略ながら、負担を求めることによりゴミの減量化、資源化を推進、加えてゴミに対する関心を喚起でき、受益者負担の公平

化も図れる見通しから実施に踏み切ったとのこと。同時に透明及び半透明のゴミ袋を指定したことで分別の徹底、リサイクル化、安全性の確保など、意識啓発については大きな効果を上げたという。
ゴミ有料化に市民過剰反応
 反面、実施に理解を得るため必要な周知期間と広報活動が不十分だったことか

●ご用心

深夜のコソド

ロヤ車上狙い

井原町内で多発!

井原町内の下町地区を中心に、七月三十日頃から十数件にのぼる深夜のコソドロヤ、車上ねらいによる盗難被害が相次いでいる。
 犯行の手法は窓ガラスを切り取り鍵を開けて侵入するなどいたって巧妙。たまにかねた下町地区は第四部消防団が深夜の夜警、自治

夢のカナダへ

ホームステイ

「カナダは最高」それ以外表す言葉はありません。生まれ初めて英語ばかりの世界を体験し最初は緊張

ら、駆け込み排出や住民の間でゴミ排出をめぐるトラブルが増加した事など、過剰な反応も認められた。

こうした弊害を除き、意識向上を定着させるためには、ゴミの分別及び排出方法について正しい知識を提供することが重要。始末の悪い違反ゴミや不法投棄に對しては、行政の粘り強い対応が不可欠であるとする津山市の姿勢を学び、環境問題の難しさを痛感した。

連合会は二度の緊急警告チラシを配付した。倉掛地区内でも郷社の拜殿付近に深夜不審な若者が出没している様子で、警察

がパトロールを強化中だ。倉掛自治連合会も長尾謙治防犯部長を軸に地区住民に広く、防犯意識の高揚を呼びかけている。

消火栓ホース交換

本年度は予算内の4本

このたび倉掛自治連合会は消火栓用ホース四本を自治会予算で購入、第五部消防団（岡本博文部長以下、団員二十名）の手で倉掛地

区内にある消火用器具箱を点検し、劣化の状況に応じて交換した。これは昨年、倉掛で発生した火災の際に「消火栓用のホースが傷んでいる」との指摘もあったことから、

自治連合会と第五部消防団で対応策を協議。本年度より向こう十年間で倉掛地区内すべてのホースの順次入替え計画が、昨年暮れの自治会総会の席で承認されていた事によるもの。
 井原消防署を通して購入した二十mホース一本の価格は一万七千円（税別）。自治連合会の妹尾一成消防部長は「ホースの傷み具合は器具箱の設置状態により違いがある。入替えは今後も消防団と実地調査のうえ進めてゆきたい」との意向を示している。



倉掛13-3組 井原中3年

藤井大輔

感動&感謝

ル島・洞くつ・ピクトリア、とにかくどこに行ってもすべてがダイナミック、そしてとても美しいのです。

その中で僕が一番驚いたのは、連れて行ってもらったすべての所にゴミがひとつも落ちていないという事です。キャンプをしていてもゴミはすべて決められた場所に処理するか、そうでなければ家に持ち帰るのです。大人も子供もカナダの人は、自分達で自然を守っている事に大変感動しました。ホームステイすることでカナダの文化に触れたり人や自然に対する思いやり・やさしさ・日本文化のすばらしさなど、今まで感じる事のなかった、そして

この二十一日間、色々な所に連れて行ってもらい大自然と触れ合う事も出来ました。海・川・湖・ニューキャッス

強してカナダの人々や大自然に会いに行こうと思っています。



楽しかった弥高山

夏休み恒例のキャンプ

倉掛少年団 & 同育成会

倉掛少年団(谷口大輔団長)と同育成会(的場優会長)は、夏休みを利用して七月二十五日、二十六日、川上町の弥高山で一泊二日のキャンプを行った。

午前九時半、関係者約六十名はバスや自家用車に分乗して郷社を出発、一路目的地へ向かった。途中で立ち寄ったのはまんが美術館。ずらりと並ん

♪燃えろよ燃えろーよ



多くの漫画本を目にして団員達も思わずニッコリ、約二時間のんびり勉強?にふけた。

弥高山あかまつキャンプ場へは昼過ぎに到着。昼食を済ませ早速テント設営に取り掛かる(今年は三年に一度のテント生活を体験する年)。全員が協力したのが意外と早く終わることが

出来た。

三時から慣れぬ手つきで野外炊事におおわらわ。メニューは定番のカレーライスだ。ご飯のこげた班もあったが、上々の出来ばえに「皆で作って食べるのは楽しくておいしかった」と六年生の熊谷忍さん。

夕方から始まったキャンプファイアーでは「各班ごとのゲームや出し物に皆が盛り上がった」と六年の橋本薫君が笑顔で振り返る。

井原町盆踊り賑わう

八月九日、井原小学校グラウンドにおいて井原公民館主催の井原町盆踊り大会が開かれ、多くの人出で賑わった。

踊り手も今年は増加。倉掛婦人会の役員をはじめ、学校で練習に取り組んだ小学生やお年寄りらが、暑さを吹き飛ばそうと元気な姿を見せていた。

かき氷の模擬店では、倉掛と夏目の少年団育成会員が「いらっしやい!」と手際よく客をさばっていた。

模擬店 倉掛はかき氷を担当 倉掛婦人会もホイサホイサ



クイズやゲームを楽しむ団員達



り囲む皆の歌声や手拍子が、弥高の夜空にこだました。

おしゃべりを楽しんで育成会のお母さん。「夜遅くまでお菓子を食べて騒いだ」と六年佐能実智男君のマル秘話。などなど、親子共々眠れぬ一夜は、こうして更けていった。

炎：ギター… 歌声：夜空…

育成会の倉橋一郎さんと佐藤秀樹先生のギター演奏が始まると、懐かしい曲、新しい曲に合わせ、炎を取

翌朝は六年の受女洋子さんが「少しに感じた」と語る地元特産のこんにゃくで、手作り体験にもチャレンジした。その後、宝さがしや鬼ごっこなど楽しい思い出を一杯つくり、涼しかった今年のキャンプを無事終えた。

倉掛ほっと情報

- 17組の山岡被服前に「鉄道井原線開業まであと〇〇日」と知らせる表示板が設置され、平成11年1月11日開業へのカウントダウンが始まった。
- 12-1組の藤原達一さんは7月26日、今年も実行委員長の大役を務めた第2回モンゴル国際マラソンが大成功。ほっと一息、胸をなで下ろしている。
- 小6～中3まで倉掛公園の西に居住し、倉掛に知人も多い岡山商大4年の筒井敦史選手が、6月27日に開催された日本学生陸上選手権の三段跳びで15m96を跳び優勝、見事学生日本一となった。
- 8月中旬以降、日芳橋～大正橋の土手の桜の葉が毛虫に食べ尽くされ丸坊主になりつつある。アスファルト道路も糞のため茶色に見えるほど。毛虫軍団は勢いを増し、なおも“北上中”だ。



『皆の協力による手作りこんにゃくを刺し身で食べたけど、とても美味しかった』と育成会の橋本智枝さん、原田恵子さん = 26日の朝食風景

◆ 行事予定 ◆

- 9/13 井原町敬老会 (井原小学校)
- 9/19 自治連合会防犯パトロール
- 9/20 井原中学校秋季体育祭
- 9/27 井原小学校運動会
- 10/ 4 井原市民体育祭
- 10/ 4 倉掛少年団&同育成会 倉掛公園・土手清掃 8時～
- 10/25 井原町秋祭り
- 11/ 1 井原町地区対抗球技大会
- 11/ 1 岡山県高校駅伝競走大会
- 11/ 9 倉掛少年団夜警活動 (11日迄 午後7時～郷社)
- 11/15 倉掛少年団廃品回収 午前8時30分～
- 11/28 井原町公民館学習作品発表会